

富士山代立寺

縁起

江戸時代、西山本門寺16世日映の弟子山城阿闍梨日堯が当地に庵室を結び布教していたところ、小泉に住む非常に信仰心の厚い妙泉という女性が臨終に際し、息子の清金兵衛に自分の死後、寺を建てて寄進するよう言い残した。金兵衛は母の遺言により、1周忌の折りに寺を建立し寄進した。日堯上人を開基と仰いで、寛永6(1629)年4月8日開創された。



多宝塔

多宝塔は平成24年 10 月に落成慶讃式を迎えたばかりである。総檜造りで、高さ約15m、間口約5m、軒幅は約9.5mある。石山寺の多宝塔を模したといい、富士山を背景に端正な姿を見せている。

多宝塔には、多宝如来、夢あわせのお祖師さま、釈迦牟尼佛の尊像が祀られている。

